

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukuseru? TIMES'12

平成 25 年 3 月 2 日発行

東京都杉並区梅里 1-22-32[社会教育センター内]TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

卒塾号

2月25日
昼コース

だがしや楽校と駆け抜けた1年間

卒塾

～次の活動へ向けて

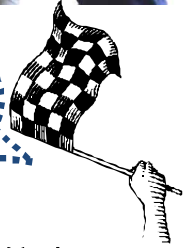


2012 年度大人塾昼コースは、今日が最終回。
今回は、3 月 2 日に行われる昼・夜コース合同成果発表会に向けての準備の時間だ。はじめに、これも最後となる日直を伊藤さんから。

さて、合同発表会の準備だが、これまで 2 回のだがしや楽校での準備やゼミ活動グループでの発表準備など、準備に関する経験はばっちり。あくまで余力を残せるよう考えつつ、だがしや楽校で学んだ「自分みせ」や「おすそ分け」を盛り込んだ。



成果発表会へ
向けてラスト
スパート!



全員で準備

(流れをパワポで確認中)

私は、受講生のみなさんが準備の話し合いの中で、「卒業後の活動に向けて」というキーワードを何度も出されていることに気が付いた。以前にも、大岸さんが、「この講座は未来を見据えているよね。自分たち(受講生)が卒業後の未来に何をすることが大事、ということが伝わってくるよ。」と話していた。これは、この講座で気付いた大きな学びなのだろう。

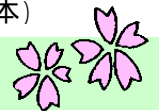
今年度大人塾昼コースでは、副題に、『人が、地域が生き生きしていく「和」のコミュニティ学習』とつけている。この大人塾で学んだ「和」のコミュニティ学習(お互い様、おすそ分け、お茶の間談義、...)を使って、これからはみなさんが人や地域とともに生き生きして欲しいと思う。最後に、みなさんの学びを間近で見ることができ、幸せです！卒塾おめでとうございます！(坂本)



グループで発表内容の話し合い (上:きょうりゅう倶楽部、右上:わづくりの会、右:だがしや楽校 物語)



新たな門出に立つみなさまへ 祝辞



松田道雄さんより

谷原博子さんより

24 年度すぎなみ大人塾昼コース

だがしや楽校を開こう!

受講の皆様。ご卒業おめでとうございます。

学校と同じように、この大人塾も、卒業後の皆様のご活動が学習の成果になります。

だがしや楽校という、奇妙なコースに

最後までご参加いただき感謝の一言です。

何と言っても、このコースの持ち味は、名前から

連想される楽しさ感です。その感覚を地域に広げて

いただくことをご期待申し上げます。

今年の昼コースは、毎回日直さんの 5 分間スピーチを取り入れました。

日常の出来事にこれまでの人生のエッセンスを散りばめ、凛と前

を向いて語る姿に人柄や価値観などが凝縮され、ここから大人を楽しむヒントをたく

さん学ばせていただきました。杉並からも望める富士山とその時々

の自分の心境を重ね、三色で表現した日直さんがおられましたね。

何か違って見えたこんな場が日常にあふれた分、豊かになっていくような気がします。

卒塾を迎え、3 月の富士山はどんな色に映っていますか?

卒塾おめでとうございます。

卒塾おめでとうございます。

卒塾おめでとうございます。

卒塾おめでとうございます。



18回の出会いに感謝！

祝・卒塾！ アクション宣言発表

2月20日
夜コース



2/20 版 大人塾曼荼羅

大人塾で気づき得たことは？

地域課題を考える視点が増えた 支援団体やNPO法人などの活動内容を知り、尊重しあったり、相互理解により自発的にコミュニケーションをより深められるようになった 人とのコミュニケーションで、自分の立場からだけでなく、ちょっと相手の立場、目線で考えるとよいと思った 自分の得意・不得意の領域を再確認できる場であった ソーシャルアクションって楽しんでいいんだと思った 街を好きになるために、気づいた人が発信し、やってみる。このシンプルさが大事 人はそれぞれ考えを持っているが、一人ではできないことも仲間とならできることを知った 知り合えたメンバーを中心に、地元の和が広がり始めている 自分と同じ課題を持っている人が沢山いることを知って嬉しかった ほか（受講生の記録より抜粋）

今回で夜コースはいよいよ最終回。最後は自分に立ち返ってみる…これが夜コースの締めくくりである。そこで、「1年間で気づき得たこと」と「今後のアクション宣言」をひとりずつ発表した。もうすでに自分の中でやりたいことが見つかっている人、これを機会に自分の1年を振り返り、何かをアクションしてみようと決意を新たにしている人。いろいろなパターンがあるが、それを文字に書きとめ、皆の前で発表するのは、まさに学びの総決算である。そして成果発表会で宣言してもらった「共感できる賞」を選び、結果、下記の5名の方が選ばれた。

「みなさんの発表で、『広石さんの講義がとても勉強になった』と書いてくれた方が誰もいなかった(笑)。でも、それが一番。人の話からでなく、ここでは、やってみて、人と関わって、それから自分で学ぶのです」と広石さん。その言葉通り、ここで得た経験・つながり・知識、そして気づきをもとに、ぜひ自分の「アクション」をおこしていただきたい。

今年は特に、発想や探究がすごい と言われた受講生。そんな皆さまに出会えて、私も新しい発見、さまざまな感動をいただいたことに心から感謝いたします。まさに「相互学習」でした！皆様の今後のさらなる飛躍と、堅い絆に乾杯！卒塾おめでとうございます！（記事：湊）

アクション宣言 共感できる賞

- ・徳光さん 「40～50代に向けた『地域のつながりレッスンWS』開催」
- ・福島さん 「聞こえない人と聞こえる人が一緒に行く農作業イベント開催 & にぎやかな沈黙2回目実施」
- ・高田さん 「杉並の農と食を通じたイベント企画開催」
- ・尾平さん 「実家に帰り、介護関係の仕事を見つけたい」
- ・愛宕さん 「シニアボイスのWS第2回を開催、記録集を作る」

新たな門出に立つみなさまへ 祝辞

広石拓司さんより

自分のアイデアを地域でカタチにするには、周りの人たちの協力が不可欠です。今期のみなさんが協力しながらワークショップ準備を進める姿が印象的でした。本音を出し合い、ぶつかっても諦めずに実現していく。つい避けがちですが、トラブルを乗り越えた時、つながりは深まります。このつながりから、杉並の未来を共に創る活動が生まれるのを楽しみにしています！

手塚佳代子さんより

とにかく忙しいみなさんがよく通ってくれたな、につける1年でした。例年よりチーム活動は短かったのですが、自分自身の深いところ、協調力の必要性、目標に立ち向かう苦しさ喜び、チームだからこそ実感できるものを受け取った方も多いことでしょう。自分自身の存在やパワーを有意義に発揮できるいい塾だった！と感じて頂ければ幸いです。これからは長く細く地元の友人として一緒に活動できることを楽しみにしています。

